

OB 会活動報告について (2016・10・15～2017・7・8)

WVOB 会総会 (平成 28 年 10 月 15 日) で新体制 (資料①) の承認を受けてから現在 (平成 29 年 7 月 8 日) に至る主な OB 会活動内容を下記のとおり報告します。

◎平成 28 年度第 1 回役員会 (28/11/19)

- ・OB 会総会報告資料等の確認及び発送手配。

◎同第 2 回役員会 (29/02/18)

- ・平成 29 年度の OB 会年間活動計画、予算計画及び OB 会会員名簿様式の検討をした。
- ・新役員の大学事務局、山小屋地元関係機関の挨拶先、時期等について調整を図ることを決定した。
- ・OB 会則の変更に伴う小屋規則の変更について、管理運営組織「山小屋管理運営委員会」の設置、構成メンバー案の検討、山小屋管理運営費の OB 会負担の明確化などについて検討した。
- ・山小屋の火災保険、地震保険について継続して検討することとした。

◎平成 29 年度第 1 回役員会 (29/04/22)

- ・平成 28 年度 OB 会会計報告 (資料②) を役員会で確認した。
- ・OB 会年間活動計画案及び予算計画案について議論、修正等を行い最終案を作成した。(資料③、資料④)
- ・山小屋地元関係機関 (資料⑤) 挨拶先の決定及び併せて行う山小屋偵察の日程及びメンバーを確定した。
- ・9 月 16・17 日に現役のワーク合宿に合わせ、山小屋 OB 会を開催することを決定した。
- ・OB 会会員名簿様式案について確認をした。主な内容は宛先不明などの会員も含めて再調査を行い、会員の住所、電話番号などを最新のものに更新し、名簿様式を会員の部卒業年次を年度から年に変更し、名簿情報に総会や OB 会の出席状況、会費の支払い状況などを追加した。また、在籍学科を追加することとした。
- ・前回役員会に引き続き、山小屋の「火災・地震保険」の検討した。なお、早急のリスク管理として山小屋建屋に起因する対人及び対物損害補償、また、山小屋 OB 会などイベント時の不慮の事故に対応するため「施設賠償責任保険」へ加入を決定した。
- ・前回役員会の検討に基づき「じんじろげ小屋管理運営規則 (案)」を作成した。なお「山小屋利用申込書」の内容については引き続き検討することとした。

◎平成 29 年度第 2 回役員会 (29/07/08)

- ・会員向け OB 会活動報告及び資料について、内容確認及び決定をした。(本資料)
- ・山小屋 OB 会の企画書 (案) の検討及び山小屋 OB 会の案内状 (山小屋 OB 会のご案内) の発送手配をした。
- ・「じんじろげ小屋管理運営規則 (案)」、「山小屋利用申込書」(資料⑥) を役員会で承認した。
- ・山小屋の雨漏り対応について、今回調査により確認出来た雨漏り箇所は早急に対応する事とした。(資料⑦)

◎地元関係機関挨拶及び山小屋偵察 (29/5/19・20) (資料⑦)

- ・新役員による地元関係機関(佐久市協和財産区、望月青少年自然の家)への挨拶を行なった。
- ・老朽化が進んでいる山小屋施設の状況を把握するため、当地域に精通しており施工実績のある「望月青少年自然の家」管理運営会社の信州リゾートサービス(株)に同行を依頼し、特に山小屋の雨漏り箇所や梁の劣化状況などを中心に調査した。
- ・雨漏り対策は、度重なる塗装により、雨漏り箇所をすべて特定出来ないこと、築後 50 年経過している事などから屋根の葺き替えが必要なことが判明した。

◎卒業生祝賀会、新人歓迎会への出席 (資料⑧)

- ・卒業生祝賀会 (29/3/20) 及び新人歓迎会 (29/6/18) に役員が出席した。

◎その他 OB の活動

- ・2029/05/27 横浜会

資料①

- ・新役員は各期の連絡員（注）が兼務することとした。
- ・新役員の役割分担を明確にした。（下表）

（注）すべての会員とOB役員間の意思疎通を良好な状態に保つため、OB全体を年代別に7つの期に分け各期の連絡員を選出した。

東京都市大学体育会WV部OB会役員役割分担				2017/2/18
役職	担当	ミッション	分類	業務
顧問	白旗 弘実	運営相談を受ける		* 東京都市大学ワンダーフォーゲル部顧問として、 * 大学側と連絡・調整をする ※
会長	佐藤 光司 (S38)	会の代表・責任者 緊急時の意思決定		東京都市大学との連絡等(事務局長、学生支援センター、佐久市長他) 五島育英会、校友会、外部組織との契約
副会長	永富 修 (H04)	組織全体の管理	年間計画	* 年間計画を立てる
			遭難積立金	* 現役対策 遭難積立金の計画
		会長不在時の代理	相互調整	総会・山小屋OB会・各種会議の調整と連絡
副会長	田口 哲雄 (S44)	山小屋関連業務担当	山小屋貸出	問題点の指摘と小屋の使用状況の管理
				*
			山小屋維持	部材の見積もり、手配 * 現役担当 山小屋偵察報告書の作成、山小屋の整備
				山小屋維持のための積立金
			OB会・親睦	当日の買い出し、準備
			OB会・親睦	送迎手配、補助
			OB会・親睦	当日の司会進行
総務 4名	小池 精一 (S54)	会員への事務連絡	山小屋維持	* 現役 要修繕箇所の確認の報告、支部の設立
	川辺 和夫 (S48)		OB会・親睦	総会の企画・開催案内文書作成・会則の見直し
	成田 豊興 (S38)		OB会・親睦	山小屋OB会の企画、開催案内文書作成
	名畑 泰宏 (H13)		OB会・親睦	OB会開催企画・案内文書送付、参加者の集計、確認
			名簿管理	参加者の集計、確認
			名簿管理	会員名簿の更新と情報管理
			かたつむり関係	* 発行回数、内容検討、 発送先の名簿作成、同封する挨拶文の作成・準備 * 現役担当 かたつむりの編集、発送業務
会計 2名	飯島 五郎 (H01)	予算管理、実績監理	予算管理	年間計画に基づき予算計画を立てる
	関根 明日香 (H28)		会費徴収	会費振込依頼文書作成、振込票発行(銀行・郵便局)
			会費徴収	振込票、依頼書郵送、銀行口座(会費の納入状況)チェック
			年度報告	実績報告をする
会計監査 2名	船越 靖彦 (S41)	年間計画の実施監査	実績監理	業務内容のチェック
			証票チェック	会計諸表のチェック
相談員 2名	田口 哲雄 (S44)	現役の山行計画	計画チェック	* 現役の計画に対するコメントと指導
	平野 大輝 (H27)			
				* 現役と連携する項目
			会長宅 住所・電話	〒182-0016 東京都調布市佐須町1-16-3 電話042-485-0603

資料②

平成28年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 会計報告

平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日

(単位:円)

取 入		支 出	
名 称	金額	名 称	金額
前年度繰越金	¥273,405	OB総会案内往復はがき(8/12)	¥32,240
OB会費(27年度分) 72名 * 別途60周年式典参加者93名分は、昨年度の収入に計上済	¥243,000	山小屋借地費(9/28)	¥70,264
OB総会懇親会費用(3,000*39+1,000*14)(10/15)	¥131,000	OB総会懇親会費用(ラウンジオーケ)(10/15)	¥119,200
		役員会交通費(11/19)	¥12,760
		封筒325枚・のり2個(11/23)	¥5,043
		ラベルシート(11/23)	¥1,506
		発送費(OB総会資料・かたつむり・DVD)(11/30) *92 円×104+400円×184=83,162円	¥83,162
		上記もどり分の再発送費(12/16)	¥700
		役員会交通費(2/18)	¥13,640
		卒部会祝い金(3/20)	¥20,000
総収入	¥647,405	総支出	¥358,515

繰越金

¥288,890

上記の通り、報告いたします。
監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告いたします。

平成29年3月31日 会計 飯島五郎 関根明日香
平成29年3月31日 会計監査 船越靖彦



資料③

2017年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 活動計画書			2017年4月22日 発行
日付	活動	内容	担当
2017年4月8日	大学事務局長挨拶	OB会役員交代の挨拶。 山小屋の借地契約に関して、過去に大学事務局と交わした誓約書についての再確認。	会長、副会長、総務部長
2017年4月22日	第1回役員会	年間計画および予算計画の決定。山小屋管理運営規則の見直し。山小屋偵察の計画。山小屋の火災保険加入について。	全役員
2017年5月19日～20日	山小屋偵察、 地元関係機関挨拶	佐久市協和財産区、望月少年自然の家への挨拶。山小屋補修の地元工務店の調査(中野組が廃業のため)。	会長、山小屋担当役員
2017年7月8日	第2回役員会	山小屋偵察結果確認と修繕の計画。山小屋OB会の企画。会員への広報(OB会開催案内、2016年度会計報告、会費納入の案内、等)の準備。	全役員
2017年7月中旬	第3回役員会	会員への案内文書発送作業。	総務
2017年8月26日	第4回役員会	山小屋OB会の主席者確認。OB会当日の段取り(食料計画、司会進行、等)の決定。事前準備。	山小屋担当役員+α
2017年9月16日～17日	山小屋OB会	現役部員の山小屋ワーク合宿期間中に開催。 山小屋のワーク活動。OBと現役の親睦会。	全役員
2017年12月上旬	第5回役員会	山小屋OB会のレビュー。 懸案事項(会則見直し、OB会の運営のあり方、等)の検討。	全役員
2018年3月中旬	第6回役員会	会計監査と会計報告。2017年度の活動のレビュー。 来年度の計画決定。	全役員
2018年3月下旬	4年生の歓送会	現役部員主催の卒業生歓送会にOB会から代表者が出席。	会長、副会長、他

資料④

平成29年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 予算計画書

平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

(一般会計)

単位:円

収入		支出		
科目	予算	科目	予算	備考
28年度繰越金	288,890	山小屋借地費	70,000	借地年間費用
OB会費(29年度)	540,000	山小屋維持・修繕費	200,000	雨漏り修繕、備品/消耗品補充費用
		山小屋活動費	78,000	山小屋偵察、関係機関訪問
		通信費	60,000	郵送費用
		事務用品・印刷費	30,000	報告書作成費用
		渉外費	20,000	卒部生へのお祝い金
		交通費	65,000	役員会(5回)
		特別会計へ繰出し①	200,000	かたつむり(支援)積立金として
		特別会計へ繰出し②	100,000	山小屋大規模修繕費積立金として
		雑費	5,890	
総収入	828,890	総支出	828,890	

(特別会計)

単位:円

収入		支出		
科目	予算	科目	予算	備考
(一般会計から繰入れ)				
①かたつむり(支援)積立金	200,000		0	
②山小屋大規模修繕費積立金	100,000		0	
収入	300,000	支出	0	

作成 : 平成29年7月5日 副会長 永富 修
承認 : 平成29年7月8日 役員会

東京都大学ワンダラーフォーゲル部 山小屋関係機関一覧

関係機関	代表者・担当者		連絡先			備考
	役職	氏名(学年学科等)	〒	現住所	電話番号	
東京都大学事務局	事務局長	上倉 信介	158-8557	東京都世田谷区玉堤1-28-1	03(5707)0104(代)	kamikura@tcu.ac.jp (平日 9~17時)
"	部長	住田 暁弘				asumida@tcu.ac.jp (土曜 9~13時)
"	学生支援センター	島田 則明				nshimada@tcu.ac.jp 上記以外 守衛所03(5707)1050
東京都大学	顧問(教授)	白旗 弘実	223-0064	神奈川県横浜市港北区下田町3-28-21	(新公式HP) http://tcuwangel.web.fc2.com	工学部都市工学科
ワンダラーフォーゲル部(顧問・現役)	主将兼山小屋委員	川原 亮喜(3年情報シ)	142-0063	東京都品川区荏原 7-20-3	080-6593-1711	leafgreen93@ezweb.ne.jp
	山小屋委員	北原 信平(3年原子安)	360-0853	埼玉県熊谷市玉井 1470-3	090-6195-7812	nausicaa-1984@ezweb.ne.jp
	山小屋委員	山田 拓人(2年機械シ)	202-0015	東京都西東京市保谷町 6-10-25-19	080-8886-9968	g.16.12087@tcu.ac.jp
	会長	佐藤 光司(S38卒通信)	182-0016	東京都調布市佐須町1-16-3	090-2179-0640	cvs96288@mvb.biglobe.ne.jp
東京都大学	副会長	田口 哲雄(S44卒通信)	215-0023	神奈川県川崎市麻生区片平3-14-27	090-5551-3707	napier@agate.plala.or.jp
ワンダラーフォーゲル部(OB会)	総務	川辺 和夫(S48卒土木)	260-0822	千葉県千葉市中央区蘇我町2-10-5	090-7222-9715	kwb.fam@lime.ocn.ne.jp
	総務	小池 精一(S54卒土木)	301-0001	茨城県龍ヶ崎市久保台4-1-5 南3-408	090-2235-0851	s.koike0115@yahoo.co.jp
	委員長	田口 哲雄(S44卒通信)	215-0023	神奈川県川崎市麻生区片平3-14-27	090-5551-3707	napier@agate.plala.or.jp
東京都大学	委員	川原 亮喜(3年情報シ)	142-0063	東京都品川区荏原 7-20-3	080-6593-1711	leafgreen93@ezweb.ne.jp
ワンダラーフォーゲル部	委員	小池 精一(S54卒土木)	301-0001	茨城県龍ヶ崎市久保台4-1-5 南3-408	090-2235-0851	s.koike0115@yahoo.co.jp
山小屋管理運営委員会	委員	北原 信平(3年原子安)	360-0853	埼玉県熊谷市玉井 1470-3	090-6195-7812	nausicaa-1984@ezweb.ne.jp
	委員	山田 拓人(2年機械シ)	202-0015	東京都西東京市保谷町 6-10-25-19	080-8886-9968	g.16.12087@tcu.ac.jp
(佐久市協和財産区管理部署) 佐久市望月支所経済建設環境係	企画管理官	吉田 氏				
	係長	池田 氏	384-2044	長野県佐久市望月263	0267(53)3111(代)	
	担当者	油井 陽介			090(5414)4663	
	議長	依田 永一				
佐久市協和財産区(現地事務所)	副議長	上野 一男	384-2204	長野県佐久市協和5254-2	0267(53)2021	
	担当者	千葉桜 政彦				
長野県望月少年自然の家 (指定管理者:信州リゾートサービス㈱)	所長	辰野 文夫	384-2044	長野県佐久市協和3489-67	0267(54)2405	moti258@sakunet.ne.jp
	担当者	新美 亮介				
信州リゾートサービス㈱	代表取締役	安江 高治	384-2309	長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野210	0267(55)7777	info@sresort.jp
	係長	塩澤 公人				山小屋維持管理関係
佐久警察署(川西庁舎)			384-2204	長野県佐久市協和131-1	0267(53)0110	
佐久広域連合川西消防署			384-2204	長野県佐久市協和132-2	0267(53)0190	
川西赤十字病院(日曜休診)	内科/外科/整形外科/眼科		384-2202	長野県佐久市望月318	0267(53)3011	(受付時間) 8:30~11:30

平成29年 7月 8日 現在

資料⑥

東京都市大学ワンダーフォーゲル部 山小屋利用申込書

平成 29年 7月 8日 作成

年 月 日

東京都市大学ワンダーフォーゲル部
山小屋管理運営委員会 殿

住 所

(代表者)氏 名

※法人にあつては名称・代表者、OB・現役にあつてはその旨を記載願います。

1. 利用する山小屋施設(番号に○印をつける)

1. 山小屋 2. 炊事場 3. 風呂 4. トイレ 5. 広 場

2. 利用目的(合宿、OB同期会、家族旅行、職場旅行など)**3. 利用期間**

年 月 日() ~ 年 月 日() まで 泊 日

4. 利用責任者の連絡先(東京都市大ワンダーフォーゲル部々員及びOB会々員にあつては、その旨を記載して下さい)

住 所

氏 名

連絡先(電話番号)

5. 利用人数

_____人(中学生以上) 、 _____人(小学生以下) 計 _____人(うちOB _____人)

6. 利用料金(中学生以上)

_____人 × _____泊 × 1,000円/泊・人 計 _____円

(山小屋利用上の注意点)

1. 利用責任者は、山小屋管理運営委員会に山小屋利用の旨を申請し許可を得てください。
山小屋利用の申請は、電話、および、下記のホームページからのメール連絡等にて受付可能です。
2. 利用責任者は、「山小屋利用申込書」に記載の上、料金と共に封筒に入れて、山小屋に備え付けの料金箱に投函して下さい。
本「山小屋利用申込書」は、山小屋にも常備してあります。
3. 利用料金は、中学生以上ひとり1,000円/泊です。
4. 小学生以下の利用料金は無料ですが、山小屋維持管理のためカンパをいただければありがたいです。
5. 燃料は持参してください。尚、くれぐれも火の取り扱いにはご注意ください。
6. 薪が不足していますので、薪で火をおこす方は持参願います。佐久近辺のホームセンターで入手可能です。
7. ゴミ、食材、調味料、油、お酒等の置去りは、小動物の餌になり山小屋の荒廢に繋がりますのでお持ち帰り下さい。
8. 山小屋諸設備及び利用方法につきましては、山小屋備え付けの「山小屋利用の手引き」をご参照下さい。
9. 山小屋及び施設等の利用に伴う事故、トラブル等につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
10. 山小屋利用に関するお問い合わせ・ご意見ご要望などは、下記の東京都市大学ワンダーフォーゲル部ホームページ「e-mail」からお願いいたします。

※東京都市大学ワンダーフォーゲル部公式ホームページ <http://tcuwangel.web.fc2.com>

「山小屋地元関係機関挨拶及び山小屋偵察」報告書

平成 29 年 7 月 8 日

1. 目的 昨年開催の WVOB 総会において OB 会役員が一新し、引き続き山小屋の地元関係機関と良好な関係を維持する必要があるため新役員による地元関係機関への挨拶を行うとともに、老朽化が進んでいる山小屋施設の状況を把握するため、現役と合同で山小屋の偵察を実施した。
2. 日程 平成 29 年 5 月 19 日（金）～ 20 日（土）（天候：晴れ）
3. 参加者 (OB 会) 佐藤会長、田口副会長、川辺（総務）、小池（総務）
(現 役) 川原主将、北原山小屋委員(3 年)
4. 訪問先 (1)佐久市協和財産区（山小屋土地所有者）
(2)長野県望月青少年自然の家（現役山小屋合宿時のボランティア活動の場：当施設は長野県の直轄管理から信州リゾートサービス(株)が指定管理者となり、県から施設管理を受託している）

5. 結果

(1)地元挨拶（19日）

WVOB 会組織及び東京都市大学の紹介を行うとともに、今後とも山小屋、WV 活動を通して交流を続けていきたい旨を説明し賛同を得た。

(2)山小屋施設の現況調査（20日）

現役から雨漏り箇所が山小屋全体に見られるとの報告があったことから、これらを中心に調査した。なお、専門的な知見も必要なことから、当地域に精通し山小屋などの維持管理に実績のある「信州リゾートサービス(株)」に協力をお願いするとともに、雨漏りの状況については後日降雨時の調査を依頼した。

○屋根部

- ・屋根（屋外）の棟（屋根頂上部分）が劣化し屋根板（トタン板）との接合部が浮いている箇所や錆など屋根板本体の劣化が多く見られ、ここから雨水が入り込んでいる可能性が大きい。
- ・煙突や旧煙突跡からの侵入も考えられる
- ・屋根（屋内）の木材（梁、柱）は、縦方向のひび割れがあるが乾燥収縮によるものであり、腐食によるものではなく、木材は比較的健在と思われる。
- ・上記木材表面の白い粉のようなものは、雨漏りで水が回ったことによるものでカビと思われる。

○山小屋増築部（和室）

- ・畳が緑色に変色している（かびの一種か）。木材（梁、柱）は比較的健在と思われる。

○立 木

- ・山小屋等への倒木の恐れのある腐木、山小屋屋根への落葉を防止するための伐採木が見られる。

○降雨時の雨漏り状況（6月21日：信州リゾートサービス(株)調査、裏面「写真」参照）

- ・煙突部や屋根裏部から、また、軒（のき）天部の直上の屋根裏からも雨漏りを確認。煙突部は煙突のカシメ部（接合部）を伝わって、屋根裏部は屋根材の穴などから雨水が侵入している様子。

（雨漏りの原因と対応）

- ・原因は屋根材の劣化（錆による腐食）により開いた穴や亀裂から雨水が侵入している可能性が高く、屋根全体に穴や割れが発生しているためと思われる。
- ・従来からの度重なる塗装により劣化部分（雨漏り箇所）を全て特定することは困難な状況であり建設後 50 年経ていることから、屋根の葺き替えを行わないと雨漏りの解消は難しいと思われる。なお、今回確認した雨漏り箇所は、早急に応急措置で対応する。